



【申7号】「大宮支店における今後の業務体制及び労働条件・職場環境改善に関する申し入れ」を会社に提出！ (8月8日)



〈JRメカトロサービス労働組合の主張〉

JR-MS大宮支店の歴史は長く、平成7年のJREM大宮事業所の発足とともに、JR東日本グループとしての製造事業が始まり、平成12年の大宮センター発足と業務集約により、JR-MSとJREMと一体的な事業、そして、平成20年の統合により製造事業を一手に担い、JR東日本の全フィールドに関わる新造や工場検修・修繕を行い、JR東日本グループの発展に貢献してきました。

しかし、2025年6月5日発出された、『じゅいち便り』において「今後、大宮支店の業務変化に伴い、JREMやメーカー等関係箇所との業務整理の中で社員の出向等を検討する可能性があります。またお客さまや関係箇所との協議等により流動的な部分もありますが、本件に伴い皆様が不安を感じることなく働けるよう逐次、説明等を行ってまいります。」との言及がありました。この一方的に発信された文書には、具体的な業務体制や明確な時期は示されておらず、大宮支店で働く組合員並びに従業員からは不安の声が上がっています。大宮支店のこれまでの役割と貢献を踏まえ、安心して働ける環境を構築するため今後の業務体制について早急な議論が必要です。

また、労働条件や職場環境についても改善の声が寄せられています。大宮支店は他支店と異なり執務箇所が点在しているにも関わらず、勤怠システム端末の使用箇所に制限が設けられています。更衣時間は、制服への着替えを義務付けている場合には労働時間に該当し、打刻のタイミングは、出勤時は着替え前、退勤時は着替え後に行うことが基本となっています。しかし、一部の職場では、更衣室から執務場所への移動が5分以上を要し、必要な更衣時間が確保されず、他の部署と差が生じているのが実態です。コンプライアンス遵守の観点からも是正が求められます。さらに、工場内事務スペースでの着帽など作業環境についても部署間における不公平感が生じています。

JRメカトロサービス労働組合は、組合員が安心して働ける環境を構築することを通じて、企業の健全な発展を実現するため、下記の通り申し入れますので真摯な回答をお願い致します。

〈7点の要求について〉

1. 大宮支店の今後の将来像を明らかにすること。
2. 大宮支店の業務体制変更に伴う、社員の出向の規模、出向先および労働条件を明らかにすること。また、労働条件に変更が生じる場合は、本人希望を尊重し事前に協議を実施すること。
3. JREMおよび関係メーカーとの業務分担・整理に伴う組合員の雇用の維持ならびに労働条件を確保すること。
4. 出向対象となる社員への不安軽減の施策として、社内コミュニケーションの強化及びケア施策を実施すること。
5. 勤怠管理について、更衣室までの移動時間を考慮し製造課・検証課について必要な更衣時間を確保すること。また、更衣室近傍へ勤怠システム端末を設置すること。
6. 第1工場の個人PCスペースは事務スペースの位置づけであることから作業効率を高めるため脱帽とすること。
7. 申し入れについては、2025年9月5日までに開催すること。

JRメカトロサービス労働組合は、団体交渉を通じて要求の実現に向けて精力的に取り組めます！